

登録コード:MH327400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	地域理学療法学実習【20M以降】 Clinical Practice in Community Rehabilitation			
担当教員	小宅 一彰			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学療法学専攻 / 4学年 前期(集中) 集中・不定期			
単位数、講義室	1 単位		遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		地域の高齢者医療の実際を知ることで、大学や病院で経験することが難しい知識の習得を図る。	
	MH25カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・理学			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		理学療法士に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を習得し、臨床実習のさまざまな状況で活用できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		変化し続ける社会で生じる医療・介護・福祉の課題に対して、理学療法士の視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	
	問題解決力 保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。		理学療法の臨床現場で生じる多様な情報を科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに患者・家族・関連職種へ伝えることができる。	
	対人関係形成・協働力 保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、保健・医療専門職者として協働的に役割を担うことができる。		理学療法の臨床現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションを取りながら適切な関係を形成し、保健・医療専門職者として協働的に役割を担うことができる。	
プロフェッショナリズム 保健・医療専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。		理学療法士として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	ディケア、ディサービスそして訪問リハなどで実習指導責任者の指導を得ながら個別に1週間の実習を行います。本授業は、3年次後期に学んだ「地域理学療法学」ならびに4年次前期までに実施した臨床実習の発展科目に位置付けられます。本授業での学びは、4年次後期の「理学療法管理学」、「チーム医療演習」、そして国家試験のための重要な知識となります。 臨床実習指導責任者としては、臨床経験豊富な理学療法士が学生の実習を担当し実施します。			
授業計画	2026年8月31日：オリエンテーション 2026年9月7日～9月10日：実習 2026年9月11日：実習報告会、授業アンケートの実施 ＊変更のある場合はその都度周知する			
授業の進め方	実習は、主に松本市内で地域医療に携わっておられる学外施設で行われ、1施設あたり1～2名の学生を配置する。経験豊富な療法士の指導の下、対象者の検査・測定・評価を行う。実習ポートフォリオを作成する。 実習終了後、全体での反省・報告会を通し、学習の定着を図る。			
テキスト、教材、参考書	これまで使用した教科書や配布された資料 参考書 里宇明元 編：自信がもてる！リハビリテーション臨床実習（医歯薬出版）			
成績評価の方法	実習レポート（50点）、チェックリスト（15点）、ポートフォリオ（10点）、ルーブリック（25点）を総括し評価する。総得点の60%以上を合格とします。			
成績評価の基準	評価は、実習レポート、チェックリスト、ポートフォリオ、ルーブリックの内容に基づいて下記の基準で行います。 秀：課題に対する具体的な対応を十分に行うことができる。 優：課題に対する具体的な対応を概ね行うことができる。 良：課題に対する具体的な対応を基本的なレベルで行うことができる。 可：課題に対する具体的な対応を最低限のレベルで行うことができる。			
事前事後学習の内容	【事前学習について】 実習開始前に当該実習についてのオリエンテーションを行います。 【事後学習について】 提出記録、報告等の内容に関して質問を行うので、実習内容を整理し、要点を分かりやすく説明できるようにして報告会に臨んでください。			

学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	地域理学療法学実習では4年前期までの臨床実習を経験した学生が行う見学実習です。本実習は、地域在住者を対象とした地域理学療法の意義や地域理学療法における理学療法士の役割と求められる臨床能力について学修することを目的としています。特に利用者、病院職員など多くの人とのコミュニケーションが必要になる総合的な科目です。実習前に知識や技術を十分復習しておくことが大切です。協力していただける方々への誠意と、明るく実習へ積極的に取り組む姿を見せてください。 質問への対応：小宅 一彰 k_oyake@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時(要事前連絡) 保健学科南校舎4階 小宅研究室
-----------------------------------	---